

決算特別委員会企画調整局審査(令和6年9月26日)

平野達司 神戸市内の小中学生を対象に、地元の先進技術をもつ企業(バイオ素材、再生医療、3Dプリンター技術など)と協力し、キャリア教育やシビックプライドの醸成を目的とした学習プログラムを実施しては、いかがか

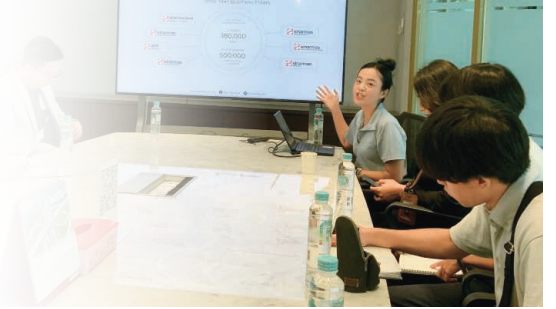
西川企画調整局局長 今年度は教育委員会と協力し、児童や生徒の興味に応じた探究学習やキャリア教育を進めている。生徒からは、学んだ知識が医療産業都市の研究に関連していることに驚き、興味が湧いたとの声もあります。企業も教育プログラムに前向きで、今後さらなる連携を進め、内容の充実を図る予定

平野達司 神戸高専の海外との人材交流について
インドネシアのIT医療系企業が集積するエリアと連携し、IT系人材の相互交流を強化してはどうか

中野企画調整局担当部長 神戸高専は、国際性を育む教育を推進し、ニュージーランドや台湾などの大学と教育研究協定を締結し、教員と学生が訪問している。当該エリアとの人材交流に取り組み、その土壌をつくることで、神戸市へのIT系人材の集積と定着に向けて、経済観光局と連携し取組を進めていきたい。今後も神戸高専の交流含め魅力向上に努めていきたい



神戸高専



インドネシアでの議論の様子

決算特別委員会都市局審査(令和6年9月30日)

平野達司 ノエビアスタジアム神戸でのライブ、試合などのイベント終了後、来場者がそのまま帰らず、この地区に滞在し消費を促すにぎわいをつくるようなまちづくりを取り組んでいただきたい

山本都市局長 ノエビアスタジアムの集客力に比べ近隣の飲食店等の施設規模が小さく、消費を促すようなにぎわいづくりには、残念だがつながっていない。このため、集客にノウハウのあるヴィッセルと様々な連携は不可欠。ノエビアスタジアムの集客力を周辺地域のにぎわいに波及させるために、周辺の事業者などを巻き込んで魅力を高めていき、新たな機能の導入を目指すことも重要。沿線地域の活性化に資する施策に積極的に取り組んでいきたい

平野達司 ノエビアスタジアムの南側高松線の市有地の利活用については

武田都市局部長 ノエビアスタジアムの南側の市有地の活用は検討を既に始めており、現在様々な民間事業者へヒアリングをしている。ニーズや事業性の調査も兼ねて試行的な取組の実施を検討していきたい

平野達司 浜山小学校の南側の旧御崎幼稚園の跡地、旧市営御崎住宅の跡地について具体的に検討が進んでいるのか

山本都市局長 土地利用促進担当ラインを新設し体制を強化した。跡地活用が実現するよう、引き続き粘り強く事業者との検討に取り組んでまいりたい



ノエビアスタジアム神戸

決算特別委員会地域協働局審査(令和6年10月4日)

平野達司 地域コミュニティ団体の高齢化や担い手不足が深刻化しており、役員の負担軽減策やイベントのノウハウ共有が重要ではないか

保科地域協働局副局長 自治会役員の研修や支援を実施し、研修やフォーラムで情報提供を続ける

平野達司 中学生が自治会役員になった事例や中学生が考える防災訓練の事例を紹介し、新しい視点から地域活性化に繋がる取り組みを提案

保科地域協働局副局長 全国の先進事例を学ぶ場を設け、講演会や資料を市のホームページで公開する予定

平野達司 神戸市内では、自治会や地域団体が防犯や美化活動など幅広い地域活動を行っているが、老朽化した施設もあり、活動拠点の確保も課題。兵庫区本町公園の老朽化した「本町集会所」を例に挙げ、解体後にカフェや会議室を兼ね備えた施設を提案し、地域の要望に応じた新たな活動拠点の提供検討を

保科地域協働局副局長 地域福祉センターを中心に自治会館や集会所の活用を支援しており、新設や改修にかかる費用を一部補助する制度も設けている

三重野地域協働局局長 多様な関係者との連携が必要で、区長とも協議しながら支援していく

平野達司 神戸市の就業構造で男性が女性よりも多いことや、理工系分野での女性の活躍が少ない現状に触れ、中高生女子を対象に企業と連携し、職業への興味を啓発する取り組みが必要だと提案

村田男女共同参画センター所長 理工系に進学する女子学生や女性研究者の割合が低いことを指摘し、神戸市が実施する「理工チャレンジプログラム」が好評を得ていると紹介。今後、企業や外郭団体と協力し、女性の理工系就職を増やしていきたい



9月20日の本会議場にて

ご挨拶

最後までお読みいただきましてありがとうございます。また市政へのご理解ご協力に感謝申し上げます。日頃から兵庫区内を回り、皆様からいただきましたご意見やご要望は市当局へ直接申入れ、お答えして参りました。また、議会では、会派を代表して、市長をはじめ、市当局に質疑を通じて市政に反映するように求めてきました。今後とも多くの皆様からのご意見、ご要望、また諸課題をしっかりと受け止め、皆様からのご付託にお応えするよう努力を続けて参ります。今回は、令和6年第2回定例会市会を中心に質疑の要旨をご報告させていただきました。